

(1)

やすらぎ

第28回 真鍋の桜を楽しむ集い



55号

令和5年9/1
二中地区市民委員会
文化広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553

写真：鳥羽久良氏 提供

真鍋の桜保存会長 羽生 佐洪

4年振りに、4月1日(土)、天候に恵まれた中で開催されました。

午後1時30分から4時までと、短縮日程での実施でしたが、恒例の子育連による「色々な遊び」、写壇NTSの「桜の写真」パネルの展示、第11・12消防団の消防車への試乗、女性消防部の「応急手当等」、真鍋六丁目昭和会のお囃子披露、フラダンスチーム「モアナテア」の演技、筑鼓(TSUKUDON)の勇ましい和太鼓演奏と、素晴らしい時間と

なりました。

日常を取り戻すには、まだまだの所が有りましたが、日本各地から訪れてくれた方々がいました。その方々との交流も貴重な時間となっています。その機会を作ってくれたのも「真鍋の桜」です。

これからも、皆さんと共に見守り続けることで、多くの潤いをもたらしてくれることと思います。満開の桜の下、多くの人の笑顔が戻ってきた一日でした。



写真：海老原一郎氏 提供

真鍋の桜を楽しむ集い

実行委員長 塚本 哲治

真鍋小学校の校庭で4年ぶりに開催され、地域の皆様をはじめ市外や全国からもたくさんの方が訪れ桜を満喫しました。

筑鼓(TSUKUDON)による迫力ある和太鼓の演奏で始まり、真鍋六丁目昭和会のお囃子で盛り上がり、モアナテアによる華麗なフラダンスの披露がありました。どのイベントも来場者の関心を集めました。



写真：真鍋小学校 提供



来年は3月30日(土)
開催予定です。



ふたば会は平成4年3月から支部社協の事業のひとつとして、地域で主に買い物に行くのが大変とか調理が無理になってきたひとり暮らしや高齢者世帯の手助けになればとスタートしました。現在は月2回、二中地区公民館の調理室で、朝9時頃から利用者の方が喜んでくれるよう楽しく調理しています。配達には土浦二中の生徒が同行し元気に声をかけたり、時には真鍋小の児童の手紙や絵、ボランティアからの折り紙を添えたりしています。ここ4年間はコロナ感染症予防のためお互い用心し、出来あいのお弁当を届けました。



地域の助け合いは地域のみならず支えていくという意識で会員一同がんばっています。調理と配達ボランティアは地区を問わず参加することができます。利用者の安否確認も大事な仕事です。弁当の届くのを待っていてくれる利用者からは時々励まし、感謝の言葉をいただいています。このように楽しく「食」の作業をしています。ぜひ一緒に地域のために作る事、届ける事に参加しませんか。問い合わせは二中地区公民館へお声かけして下さい。

ボランティアサークル 『ふたば会』紹介

会長 田之室 光子

**ボランティア
募集中**

問い合わせ先：二中地区公民館



令和5年度 総会

二中地区コミュニケーションセンター

所長 古谷 健一

5月14日(日)に令和5年度二中地区市民委員会総会が開催されました。コロナウイルスの影響により、令和2年度から書面により総会を開催してきましたが、4年ぶりに対面にて開催することができました。

総会では、令和5年度の市民委員会の事業計画や予算などについてご審議を頂き、原案通り承認されました。昨年度までは、コロナウイルスの影響で多くの事業が中止となりましたが、今年度は、事業計画どおりに全ての事業が実施され、地域のコミュニケーションがより一層強くなることを切に願います。



専門部事業の取り組み

福祉部

浅野 孝平

新型コロナウイルス感染防止のため福祉部も3年間活動を自粛しており、皆様には大変ご不便をおかけしました。今年度は新たな気持ちで部員一同、地域の福祉増進のために実践・行動していきますので皆様のご参加とご協力をお願いします。なお主な事業計画は次のとおりです。

11月 文化祭参加と協力

1月 福祉映画鑑賞会

2月 社協との合同研修

10月から2月

民児協等との連携施策としてひとり暮らし高齢者会食型食事サービス事業への協力(令和4年度から実施)

安全部

野尻 辰秀

安全部は、毎月第2火曜日に地区の防犯パトロールを実施するとともに、真鍋の桜を楽しむ集い及び文化祭には、駐車場係として車両の誘導を担い、安全・安心をモットーに活動しています。

また、本年度は、新たにAEDの使い方を含む救急救命の講習を受け緊急時の応急処置として役立てる体制を整えたいと計画しております。

スポーツ・健康部

大金 照美

今年度は新型コロナウイルスも5類に移行し大半の事業が実施される予定です。第一に文化祭を盛大に楽しくしていきたいと思えます。第二は我が部の年間行事の最大企画「バスハイキング」です。毎年80名以上の方の参加がありました。2019年を最後に3年間中止となってしまうことになりました。23回目となる今年は何んとしても実施したいと思っております。良き場所を選んでおきますので、皆様様の参加をお待ちしております。

環境部

幡谷 洋治

今年度は①花いっぱい運動・グリーンカーテン運動②土浦市環境展協力③文化祭への参加・協力④合同視察研修⑤公民館草刈清掃活動⑥出前講座を事業計画として取り組んで



いきます。SDGsの視点から、今年度、新たな事業として、出前講座を実施して、環境に対する意識向上に努めて参りたいと思えます。皆様との協働で清潔で快適な環境保全の確保に向けて行動していきます。

青少年育成部

樋戸 崇雄

青少年育成部では、チャレンジクラブの手伝いや校外指導を行っています。

6月24日には小学生たちと笠間市の松佐陶工房にて、手ひねりで茶わんや置き物等の傑作を作りました。午後は笠間芸術の森で国宝級の陶芸の作品を見ました。そのあと、あそびの杜で子供達は汗だくになって走りまわり、ローラーすべり台やふわふわドームの中で楽しんできました。



文化広報部

井坂 尚美

文化広報部では年2回広報紙「やすらぎ」を発行しています。二中地区内の情報をお届けできるよう作成しています。

二地区

新地区長紹介



真鍋二丁目
名和 功
趣味：魚釣り

真鍋二丁目は、昭和50年の真鍋地区の町内再編で発足した新しい町です。主な行事は、新川沿いの桜に提灯を付け花見会をする桜祭り、キラ祭りへの参加、真鍋の祭りへの参加、土浦全国花火競技大会での公民館屋上開放などがあります。

近年、若い世帯が増えており、層が厚く明るい町内を目指しています。市への要望として①新川5号橋の架け替え、②新川堤の転落防護柵の設置、③児童公園の整備などがあります。①は完了し、②は昨年ようやく工事が始まりました。引き続き、児童公園の整備に加え、公民館の老朽化対応を市に要望するとともに、町内の皆さんと共に住みやすい町を目指したいと思います。



殿里町
西村和男
趣味：第一級アマチュア無線技士、マラソン

4月から区長に新任した西村です。殿里町は田園風景が広がる少数の町です。全国花火大会に於いては、田んぼや畑の近くに見学できる場所がある長閑な町でもあります。

近年、他町内と同様に高齢化も進み、空き家も出てきました。又、近隣大学の駐車場ができ、朝夕多くの学生が通学しているのがみられます。

コロナ禍や個人情報問題もあり、人と人の関係が希薄化している。昨今、挨拶での交流（行き交う人々、学生たち）を実施して「安心・安全・快適」に暮らせる町づくりを進めていきたいと思っています。

微力ですが、町内関係者と協力しながら町の運営に携わっていききたいと思っています。宜しくお願いします。



若松町
井深敏彦
趣味：旅行 城めぐり

若松町町内会は旧6号国道の両側の若松町および東若松町より構成されており、特に東若松町は世帯数が増加しています。一方、若松公園周辺は空地が増え、また、高齢化が進んでいます。

新型コロナウイルスの影響で各種行事が実施されませんでした。今年度は若松町こども夏祭りを復活させるべく育成会、つばさ会（青年会）と共に活動をスタートさせています。

また、おたのしみ会（高齢者クラブ）は活動も活発で、定例のグラウンドゴルフ会や、若松公園の花いっぱい運動にと活躍しています。

安心、安全な町づくりと共に、子供達からお年寄まで、「明るく元気な若松町」を目指していきます。



東都和
田中万博
趣味：旅行

令和5年4月から東都和自治会の自治会長に就任いたしました田中万博（かずひろ）です。東都和は、三十余年前に開発された約2200世帯の分譲団地ですが、御多分に漏れず高齢化の波が押し寄せています。特にこの3年間はコロナ禍のため町内行事が中止となり、住民どうしの親睦の機会が失われてしまいました。

今年度は再出発の年として、住民の皆様とのコミュニケーションを深め、老若男女が安心して暮らせる町づくりに務めて参りたいと思っております。

私自身今まで仕事から帰って寝るだけだった町の良さを再発見し、豊かな老後を実現していきたいと考えています。

真鍋一丁目
真鍋三丁目
真鍋四丁目
真鍋五丁目
真鍋六丁目
東真鍋町

宮内 博
中西 憲雄
上野 嘉久
飯田 直利
中山 周一
下田 衛

西真鍋町
真鍋新町
木田 余
木田 余東台
木田 余西台

横田 悦男
和知 五月
羽成 勇
南川 幸之進
名和 幸二



呼吸法で心も体スッキリさせる



デトックスヨガ

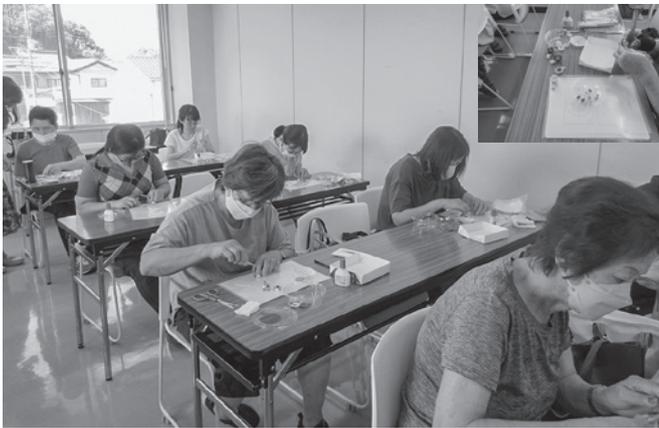
令和5年度
前期公民館講座



スマホ講座 LINEの基礎と活用



わたしと家族の「そうぞく」講座



初めてのつまみ細工



公民館講座のご案内
公民館講座は、前期・後期に分かれ、さまざまな分野で開かれています。募集要項は、市の広報紙「つちうら」の4月・9月号に掲載されます。市内の各中学校区の公民館毎に募集案内が出ます。二中地区以外の講座にも応募出来ますので、興味のあるところに問い合わせみてください。



デジタルカメラ入門 基礎からプリントまで

同好会紹介

和功会

中川 明子

楊名時八段錦・太極拳の稽古をする同好会です。

現在、20名ほど在籍していますが、仕事の都合や体調など、無理のない参加となっています。

你好（ニイファオ）と挨拶で始まり、しっかりとストレッチをしてから太極拳24の動作をします。それぞれの型に名称があり、先生より意味やいわれを説明いただくのですが、なかなか難しいもので、なるほどという顔をしてわかったようなふりをしています。

最後はお互いに感謝して、謝々（シエイシエイ）、再見（サイツウイン）と礼をして終了です。毎週土曜日午後1時半からです。見学お待ちしております。



リコフラサークル

酒井 慎司

二中地区公民館のフラダンス講座からサークルとして発足し、今年で12年になります。

毎月日曜日2回、9時～10時30分は子供、10時30分～12時は大人がレッスンを受けています。

「フラ」という言葉には踊りだけではなく、踊りを共に奏でられる楽器の演奏や詠唱、歌（チャント）も含む芸術を示します。私たちは、踊りを覚えるだけではなく、歌の意味と想いを大切にしながら、一曲一曲仕上げていきます。そんな私たちのサークルはハワイであふれています。

ハワイが好きで少しでもフラに興味のある方、日頃の運動不足、ストレス発散、私たちと一緒にフラを楽しみませんか。



獅子頭彫刻研究会

益子 隆

私たちの同好会は、平成12年10月に、日本伝統の獅子頭を研究し彫刻することによって、後世に伝承すると共に地域の活性化に貢献し、以って生き甲斐ある人生を送ることを目的に発足したものであります。

制作した作品展示は左記のとおり

- (1) 二中地区文化祭
- (2) 春季美術展覧会 土浦市
- (3) 茨城わくわく美術展 水戸市
- (4) 常陸国総社大祭 石岡市
- (5) 石岡ふる里ふれあい祭り
- (6) その他イオンモール等

活動は毎月第1・第3金曜日午後1時～4時、講師は茨城県伝統工芸士木彫師、石岡市在住の来栖龍保先生です。

興味のあ
る方は、お
気軽にお立
ち寄りくだ
さい。



墨友会

石原 昭

墨友会は、公民館講座が終了した令和2年4月に発足。新型コロナウイルスの感染拡大で活動の自粛がありましたが、毎月1回水墨画の技法や描き方を学んでいます。水墨画は和紙に墨で濃淡や滲み、ぼかし、かすれによって質感、量感、立体感、遠近感などを表現する絵画です。また墨に五彩ありと言われ、墨だけで色を感じさせるように表現するのが水墨画の醍醐味です。水墨画は筆と墨と紙があれば誰でも描くことができます。

筆の扱いや絵を描くことに慣れていない人でも大丈夫です。線や点を描くだけで小さな作品が描けます。初心者から上級者まで技量に合わせて楽しむことができます。

毎月第
4火曜日
午後活動
しています。
見学・
体験大歓迎
です。



まちづくりの
実践をたたえる表彰
令和5年

●浅野孝平さん

真鍋新町
環境美化活動(17年間)

長年にわたって町内の道路や空地等の清掃活動に携わり、地域環境の美化に貢献しており、地域住民から感謝されている。

●大久保絹江さん

東真鍋町
文化振興・環境美化活動(17年間)

二中地区市民委員会の広報部長として地域の出来事を収集し、記事を執筆するなど、地域広報紙の編集作業に積極的に参加している。

また、さわやか環境推進員として長年活動し、地域環境の美化に貢献しており、地域住民から感謝されている。

●宇田典香さん

東真鍋町
奉仕活動(18年間)

長年民生委員・児童委員として地域密着型の活動を展開し、地域福祉の向上に貢献しており、他の住民の模範となっている。

●前原浩司さん

真鍋三丁目
防犯・環境美化活動(14年間)

毎月2回、町内防犯パトロールに従事し、下校時の児童を見守っている。また、巡回路上のごみ収集や草刈り、ごみ集積所の整理・整頓を丹念に実施。年3回の公民館の防災備品点検も率先して実施しており、その実直な地域貢献活動は地域住民から感謝されている。



真鍋の鎮守と言われる鹿島神社の玉垣が、真鍋町有志の奉納により完成し、4月9日竣工式が盛大に開催されました。



鹿島神社は、真鍋一丁目に住んでおられた郷土史家の故・永山正氏(元土浦一高社会科教諭、元土浦市文化財審議委員)の著書

「土浦町内誌」によれば、大同年間(806~809)に鹿島神社鬼門五社の一社として創建されたと伝えられているそうです。さらに天慶3年(940)には平貞盛という人物が平将門を討たんとし、兵馬をひきいて立ち寄り戦勝を祈願したと社伝にあるということです。
平貞盛は「平家物語」で有名な平清盛の先祖であり、身近な所に歴史のロマンを感じさせる史実があるものだと感じさせられます。

(文化広報部)



地図と拳

小川 哲

よき時を思う 宮本 輝
新しい老い方の教科書 和田 秀樹
血圧を下げる最強の方法 渡辺 尚彦
1週間で勝手に痩せていく体になる すごい方法 栗原 毅
大ピンチずかん 鈴木 のりたけ
めんはずごい! 秋元 さくら 宮本 康彦
光のここについてね 笠原 将弘 菰田 欣也
街とその不確かな壁 草野 かおる
魔女と過ごした七日間 一穂 ミチ
反応しない練習 村上 春樹
傲慢と善良 東野 圭吾
あなたはここにいないかも 草薙 龍瞬
綴る女 辻村 深月
審議官 隠蔽捜査9.5 町田 そのこ
秋麗 東京湾臨海署安積班 林 真理子
くもをさがす 今野 敏
真珠とダイヤモンド 上 今野 敏
真珠とダイヤモンド 下 西 加奈子
木挽町のあだ討ち 桐野 夏生
極楽征夷大将軍 永井 紗耶子
橋本美緒の木彫り教室 垣根 涼介
暮らしによりそつごうぶつたち はしもと みお



音楽コンクール入賞!!

土浦二中 生井 里空さん

昨年9月に行われた、第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール（一般社団法人東京国際芸術協会主催）のピアノ部門（中学1年生の部）で、土浦一中の生井里空さんが第5位入賞を果たしました。本コンクールは、情熱と向上心を持ち、夢に邁進する若い芸術家達を応援することを旨として設立され、国際的に活躍出来る人材育成を目指して行われているものです。



上：入賞を記念し（コンクール会場）

右：「まちかど思い出ピアノ」（土浦市役所2階）での演奏（土浦市長表敬訪問時）



全国大会念願の5位入賞

「もっと上の順位が欲しい」

生井 里空

私はピアノを習い始めて9年目になります。今まで何度もコンクールに挑戦してきました。全国大会出場までは通るもの、上位入賞はなかなか難しく、毎回悔しい思いをしてきました。なので今回は念願の5位入賞をいただくことが出来て、本当にうれしかったです。でも、いざ5位になってみると、5位という響きに満足出来ず、次もっと上の順位が欲しいという気持ちに変わりました。

中学生になると、曲の難易度もかなり高くなっています。今は約10分の大曲を仕上げるのに日々練習に取り組んでいます。厳しいレッスン、家での練習はとても楽しいと言えるものではありませんが、もっと練習しておけば良かったと後悔しないように頑張っています。

これからも、失敗を恐れず、堂々と、聴いて下さる方々の心に響くような演奏をして、ずっと聴いていたいと思ってもらえるように、日々努力を重ねていきたいです。

編集部コラム

青い矢羽マーク

ここ数年で、車道に青い矢羽マークが増えている。自転車の通行をガイドするものだ。土浦には、霞ヶ浦周回や筑波山方面への自転車道があり、県もこれらを活用した観光に力を入れている。サイクリストたちに、自転車道だけでなく、近隣の観光地も訪れてもらおうという狙いで、この矢羽マークを増やしているのだろう…と勝手に思っていた。が、どうも違うようだ。

このマークは自転車の通行域を明確にするためのものらしい。自転車は原則車道の左側を走行することになっている。マークで通行域を明確にすることで、自転車を歩道から車道に誘導（歩行者の安全確保）、車に認識させることで幅寄せなどの抑止、自転車の逆走防止、などの効果を狙っているとのことだ。

こんな意味があったと思うと、車の運転時や自転車での走行時にこれ思い出して、交通安全の意識が高まりそうだ。なお、このマークは、法令上は自転車優先の意味はないとのことなので、自転車に乗る際は、車の通行に気をつけつつ、ルールを守って安全に乗るうとの思いを新たにしたい。



▲「やすらぎ」のバックナンバーは二中地区公民館ホームページから見るができます。